

市立若葉台特別支援学校で 選挙に関する出前授業・模擬投票を実施します

横浜市選挙管理委員会と横浜市教育委員会では、「主権者教育」における連携・協力に関する協定に基づき、市立学校での主権者教育の取組を推進しています。

この度、若葉台特別支援学校・旭区選挙管理委員会と連携し、選挙に関する出前授業と模擬投票を実施します。架空の市の市長選挙（わかば市長選挙）をテーマとし、通常の選挙で使用される投票用紙、記載台や投票箱等を使用した本物に近い投票体験により、実際の選挙も安心して簡単に投票できるものであると感じていただく内容となっています。

横浜市選挙管理委員会では、今後この取組を通して得た生徒の皆さまや先生方からの声をもとに、誰もが投票しやすい環境づくりの取組（裏面）の向上につなげてまいります。

選挙出前授業・模擬投票の概要

1 実施日時

日にち：令和5年12月4日（月）
時間：9:00～11:45

2 会場

横浜市立若葉台特別支援学校（横浜市旭区若葉台2丁目1-1）
相鉄線『三ツ境』より
神奈川中央交通バス・相鉄バス
116系統『近隣公園経由 若葉台中央』行き乗車 約20分
→『若葉台南』下車 徒歩2分

3 参加者

出前授業24名（B部門3年生） 模擬投票42名（A部門高等部1～3年生・B部門3年生）

4 内容

出前授業：「選挙があることを知ること」から「投票する」までの一連の流れを講義
模擬投票：架空の市の市長選挙（わかば市長選挙）をもとに模擬投票を実施

【当日の取材について】

- ◆ 取材を希望される方は、11月30日（木）12:00までに別紙取材申込書をご記入の上、下記担当宛にメールまたはFAXでご連絡ください。
（選挙管理委員会事務局選挙課 E-mail：sk-web@city.yokohama.jp/FAX：045-681-6479/担当：今永・小田島）
- ◆ 当日は、職員玄関（入口）へお越しください。
- ◆ 駐車場に限りがございますので、お車でお越しの場合は、別紙取材申込書にて事前にお知らせください。

若葉台特別支援学校について

横浜市立特別支援学校で唯一、肢体不自由教育部門（A部門）と知的障害教育部門高等部（B部門）の異なる障害種を設置する初の併置校です。B部門では、校内にコミュニティハウスやカフェのある特徴を生かし、校内実習（オフィスサポート、ビルメンテナンス、パン工房）、企業等における現場実習などキャリア教育を中心に据えた特色ある教育課程を進めています。

<参考> 誰もが投票しやすい環境づくりの取組

横浜市選挙管理委員会では、投票に来られた方が安心して安全に投票できるよう、「誰もが投票しやすい環境づくり」を目指して投票所の設備等のハード面とともに、投票所における接遇マニュアルを従事者に配付するなどソフト面の充実にも取り組んでいます。



市ホームページ : <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/senkyo/system/vote/daremoga.html>

お問合せ先			
(学校教育活動に関すること)	教育委員会事務局特別支援教育課長	金井 国明	Tel 045-671-3956
(若葉台特別支援学校に関すること)	横浜市立若葉台特別支援学校長	笹平みどり	Tel 045-923-1300
(選挙出前授業に関すること)	選挙管理委員会事務局選挙課長	廣澤 宣幸	Tel 045-671-3333

報道関係者 取材申込書

【送付先】

横浜市選挙管理委員会事務局選挙課あて

(FAX) 045-681-6479

(E-mail) sk-web@city.yokohama.jp

12月4日(月)「選挙出前授業・模擬投票」

※取材は随時受付できます。

※生徒への個別取材はできません。ご了承ください。

※当日は現地担当者の指示に従っていただきますよう、お願いいたします。

①会社名	
②氏名	
③人数 ※②を含む	
④連絡先 ※当日連絡のつく番号を記載ください。	
⑤TV カメラの有無	有 (台) ・ 無
⑥駐車場利用の有無	有 (台) ・ 無

注：ご記入いただいた個人情報等は当取材に係る連絡のみに利用し、皆様のご承諾無く第三者に提供いたしません。